



2026年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL <https://www.r-inverse.com>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者(役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03(6281)4879
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第3四半期の連結業績(2025年7月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第3四半期	3,332	7.0	245	54.0	218	61.4	184	61.1
2025年6月期第3四半期	3,114	10.8	159	—	135	—	114	—

(注) 包括利益 2026年6月期第3四半期 184百万円(61.1%) 2025年6月期第3四半期 114百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第3四半期	54.98	—
2025年6月期第3四半期	34.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第3四半期	3,574	462	11.1	118.18
2025年6月期	3,461	274	6.1	63.20

(参考) 自己資本 2026年6月期第3四半期 395百万円 2025年6月期 211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年6月期	—	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日~2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	17.9	380	108.5	330	118.2	300	105.4	89.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 一社(社名) 一 、除外 1社(社名) 株式会社コネクション

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年6月期3Q	3,348,421株	2025年6月期	3,348,421株
② 期末自己株式数	2026年6月期3Q	137株	2025年6月期	137株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年6月期3Q	3,348,284株	2025年6月期3Q	3,348,284株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、引き続き既存事業でコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。第1四半期から取り組んできた成長施策が奏功し中期経営計画の達成に向けて着実に進展しており、今後の成長加速に向けた取組みを進めております。

素材ビジネスにおいては、大手顧客を中心にカーペットタイルのリサイクルが浸透しつつあり、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要は引き続き高い状況が続いております。同時に、原料となる使用済みカーペットタイルの回収量も増加しております。また、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、製品の高品質化への取組みを強化し付加価値向上を進めております。

更に、三菱ケミカルの油化ケミカルリサイクル事業開始に伴い、その原料となるポリオレフィン系廃プラスチックの供給を進めてまいります。また、社会的に資源循環へ取組みが加速していることから、資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しており顧客と連携した再資源化技術の開発を進め収益増加を進めてまいります。

資源ビジネスにおいては、顧客の課題解決に取り組む提案型営業を指向すると同時に、オペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行いながらDX化等を進めたことで生産性が向上しており、安定的に利益を確保しております。また、廃プラの収集・再資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,332,622千円(前年同期比7.0%増)、営業利益245,935千円(前年同期比54.0%増)、経常利益218,512千円(前年同期比61.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益184,095千円(前年同期比61.1%増)となりました。

なお、当社の連結子会社であった株式会社コネクションは、2026年2月1日付で同じく当社連結子会社である株式会社ジーエムエスを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

また、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、脱炭素、資源循環の流れを受けたリサイクルカーペットタイルの需要増加に伴い、使用済みカーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要が増加しております。大手顧客を中心にカーペットタイルのリサイクルが浸透しつつあり、第3四半期においては、使用済みタイルカーペットの調達量、再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の販売量も過去最高となった結果、CTR事業の売上高は第2四半期を上回り2四半期連続で過去最高を更新し、前年同期比で増収増益となりました。

自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」(リアミド)は、大手需要家の品質要求に対応するため高品質化、生産プロセスの抜本的改善を進めております。これらの高付加価値化施策により、アパレルや成型パーツ向け等の複数の業界との取引の増加を見込み、新たな事業領域へ拡大・成長に取り組んでおります。これらの構造改革のため、既存の一宮工場から新設する蒲郡工場への移転を進めております。そのため、当第3四半期連結累計期間においては、REAMIDE®の工場移転に伴う生産量の低下等もあり、前年同期比で減収となっております。

また、新規事業となるポリオレフィン樹脂のリサイクル事業の立上げ準備を進めており、三菱ケミカル株式会社が実施する油化ケミカルリサイクルへの廃プラ原料供給、ポリオレフィン樹脂製品の再生原料の供給に向けたサプライチェーン構築を進めており、事業成長に向けた先行投資を実施しております。

この結果、売上高は1,028,544千円(前年同期比5.5%増)となり、セグメント利益は161,626千円(前年同期比1,129.2%増)となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、顧客の課題解決に取り組む提案型営業により大口顧客の獲得を進めると同時にオペレーションの見直しやリソースの最適化を行い、産業廃棄物処理事業の受注件数は今期3四半期連続で過去最高を更新し、過去最高水準の利益水準を維持しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と資源循環を推進するサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化の推進による廃棄物処理状況の可視化など顧客の課題解決を図る取組みが奏功し、既存顧客からの受注獲得に加え新規大口顧客からの受注も増加しており、原状回復工事の受注獲得も含め受注件数は前年同期対比で大幅に増加しております。

この結果、売上高は2,375,770千円(前年同期比8.2%増)、セグメント利益は564,873千円(前年同期比13.3%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,453,526千円となり、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)と比べ20,587千円増加しております。これは主として現金及び預金が255,279千円減少、受取手形、売掛金及び契約資産が215,837千円増加、商品及び製品が42,778千円増加、前払費用が11,480千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,120,756千円となり、前年度末と比べ91,709千円増加しております。これは、主として有形固定資産が45,605千円増加、投資その他の資産が34,991千円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,182,455千円となり、前年度末と比べ74,309千円増加しております。これは主として支払手形及び買掛金が58,346千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は1,929,672千円となり、前年度末と比べ149,761千円減少しております。これは、主として長期借入金が194,448千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は462,155千円となり、前年度末と比べ187,749千円増加しております。これは、主として利益剰余金が184,095千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2025年8月14日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	692,215	436,936
受取手形、売掛金及び契約資産	449,688	665,525
商品及び製品	143,922	186,700
仕掛品	15,860	25,926
原材料及び貯蔵品	59,881	63,642
前払費用	34,747	46,228
未収還付法人税等	4,443	7,250
その他	33,413	22,849
貸倒引当金	△1,233	△1,533
流動資産合計	1,432,939	1,453,526
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,321,665	1,326,084
機械装置及び運搬具	1,319,104	1,346,834
工具、器具及び備品	113,960	114,391
土地	520,100	520,100
リース資産	312,035	401,521
建設仮勘定	—	48,973
減価償却累計額	△1,833,876	△1,959,309
有形固定資産合計	1,752,989	1,798,595
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,261
繰延税金資産	81,017	81,690
敷金及び保証金	160,588	185,821
その他	17,128	27,935
貸倒引当金	△32,150	△34,133
投資その他の資産合計	246,583	281,575
固定資産合計	2,029,046	2,120,756
資産合計	3,461,986	3,574,282

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	178,055	236,401
短期借入金	80,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	548,908	551,734
リース債務	63,234	70,960
未払金	62,121	105,249
未払費用	106,255	93,017
未払法人税等	15,180	3,207
未払消費税等	30,862	48,690
賞与引当金	—	13,676
その他	23,528	29,516
流動負債合計	1,108,145	1,182,455
固定負債		
長期借入金	1,782,691	1,588,243
リース債務	106,955	158,237
繰延税金負債	—	3
資産除去債務	158,504	158,933
その他	31,283	24,254
固定負債合計	2,079,434	1,929,672
負債合計	3,187,580	3,112,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,885	162,885
資本剰余金	203,768	203,768
利益剰余金	△154,793	29,302
自己株式	△251	△251
株主資本合計	211,609	395,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	7
新株予約権	62,796	66,442
純資産合計	274,406	462,155
負債純資産合計	3,461,986	3,574,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,114,175	3,332,622
売上原価	2,100,424	2,126,390
売上総利益	1,013,750	1,206,232
販売費及び一般管理費	854,032	960,296
営業利益	159,718	245,935
営業外収益		
受取利息	295	834
保険解約返戻金	—	622
その他	3,800	799
営業外収益合計	4,096	2,256
営業外費用		
支払利息	28,018	28,953
その他	413	726
営業外費用合計	28,432	29,680
経常利益	135,382	218,512
特別利益		
固定資産売却益	1,048	1,007
新株予約権戻入益	3,371	571
その他	—	98
特別利益合計	4,420	1,677
特別損失		
固定資産除却損	4,643	535
工場移転費用	—	32,383
その他	432	1,098
特別損失合計	5,075	34,017
税金等調整前四半期純利益	134,727	186,171
法人税、住民税及び事業税	24,074	2,749
法人税等調整額	△3,615	△673
法人税等合計	20,458	2,076
四半期純利益	114,268	184,095
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,268	184,095

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	114,268	184,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	7
その他の包括利益合計	—	7
四半期包括利益	114,268	184,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,268	184,103
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	918,804	2,195,370	3,114,175	3,114,175
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,764	957	56,722	56,722
計	974,569	2,196,327	3,170,897	3,170,897
セグメント利益	13,148	498,588	511,737	511,737

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	511,737
セグメント間取引消去	△738
未実現利益の調整額	△450
全社費用(注)	△350,829
四半期連結損益計算書の営業利益	159,718

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	958,264	2,374,357	3,332,622	3,332,622
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70,280	1,413	71,693	71,693
計	1,028,544	2,375,770	3,404,315	3,404,315
セグメント利益	161,626	564,873	726,499	726,499

2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	726,499
セグメント間取引消去	560
未実現利益の調整額	△388
全社費用(注)	△480,912
四半期連結損益計算書の営業利益	245,759

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	167,231千円	156,843千円